

[ホーム](#) > [フォーラム/セミナーの報告](#) > 9目標に関連するセミナー、ワークショップ等

## 第12回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 名古屋

### チーム医療の向上に向けて 106 の改善事例発表

医療のTQM推進協議会は、フォーラム開催の8日前の平成22年9月22日に一般社団法人(上原鳴夫理事長)としての認証を受けた。第12回フォーラムは協議会が一般社団法人になって初めて開催するフォーラムで、平成22年10月1日(金)～2日(土)の2日間、名古屋市千種区の名古屋大学豊田祈念講堂において、“改善活動 チーム医療の向上に向けて”をテーマに開催された。今回のフォーラム大会長のトヨタ記念病院の稲垣春夫病院長は、「医療の質向上及び患者本位の医療の実現を目的とする多職



稲垣春夫大会長

種が協働する医療チームの力が強くなるのが、昨今の疲弊した医療の現場を活性化し、常に患者と共にある医療の再生に繋がることを期待したい」と述べ、「医療現場で医療安全確保や質の向上」に取り組むQCサークル活動による改善活動、全国的に盛り上がっている「医療安全全国共同行動の8つの行動目標」につながる改善事例、「病院として組織的に改善活動を展開してきた」5病院による事例報告等、106の改善事例が発表された。122の病院・施設から600人を超える医療関係者が集い、終始、熱気にあふれたフォーラムとなった。

上原理事長の挨拶、稲垣大会長講演で始まり、1日目には、トヨタ自動車(株)TQM推進部長大野秀樹氏、元町工場総組立部のスタッフ・課長が特別発表を行い、それぞれの立場から「トヨタにおけるTQM活動」、「QCサークル活動の改善事例」、

「推進者のQCサークル活動支援」について語った。参加者からは、「あの課長さんのスタッフに対する支援が、病院の看護師長とスタッフ看護師の間であれば、凄い病院になれると感じた」等、活動における推進者・支援者の重要性についての感想が述べられた。2日目の最後に、教育講演「トヨタの問題解決」がトヨタ自動車(株)トヨタインスティテュート部長吉村一孝氏により行われた。吉村氏は、「ト





いのちをまもる  
PARTNERS  
医療安全全国共同行動

ヨタには国内外で32万人の社員がいるが、社員教育の根幹は常に『問題解決』の具体的な行動、手順を身に付け、実践させることにある。それは、あるべき姿と現実の姿の間に存在するギャップを問題としてとらえ、解決する力を身に付け、解決していくこと」と分かりやすく語られた。参加者からは「トヨタの本質である問題解決とは、私たちが病院で実践している改善活動の考え方と同じですね。継続すれば必ず病院発展に繋がるという自信を持ちました」との声が聞かれる等、有意義で感銘深い講演であった。

その後表彰式が行われ、今回試行された「講評者＝審査員」による審査の結果、16セッションから選ばれた16サークルに大会長より優秀賞が授与された。最後に第13回フォーラム大会長を務める岩国市医療センター医師会病院の内山哲夫病院長から挨拶があり、2日間の実り多いフォーラムは閉幕した。

(文責:一般社団法人医療のTQM推進協議会理事・事務局長 北島政憲)